



松浪中教頭の渡邊 治です

今年度より松浪中学校の教頭に着任いたしました、渡邊治と申します。初めての教頭職ということもあり、4月の着任以来、毎日が新しい発見と学びの連続です。

慌ただしい日々の中ではありますが、地域の皆様からの温かいご挨拶やお声かけが何よりの励みとなり、心強く感じております。本当にありがとうございます。

毎朝の登校時には、子どもたちに笑顔で声をかけてくださる地域の皆様の姿に、改めて地域のあたたかさを感じています。おかげさまで、生徒たちも安心して学校生活を送ることができております。心より感謝申し上げます。

松浪中学校では、体育大会や合唱大会などの行事を通して、仲間と力を合わせて一つの目標に向かう大切さを学び、互いに励まし合いながら大きく成長する姿が見られます。また、地域のおまつりへの参加や防災マップづくりなどを通して、地域の一員として貢献しようとする意欲や、人と人とのつながりを大切にする心も育まれています。

中学生という時期は、心も体も大きく成長する反面、学習や友人関係などで悩むことも少なくありません。そんなときこそ、子どもたちが自分を見つめ、前向きに一步を踏み出せるよう、教職員一同で丁寧に支援してまいります。

今後も地域の皆様のお力添えをいただきながら、子どもたちの健やかな成長を見守り、支えてまいります。引き続き、温かいご支援とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。
松浪中学校 渡邊 治



「なぎさの子☆村まつり」は10回目！

こむら
第10回なぎさの子☆村まつり

日時：2026年1月24日(土)：13時～16時

ほしよ しのみ だいらしやうがっこう うてんけいこう

場所：汐見台小学校(雨天決行)

はじまり

2011

- 汐小推進協発足
- 親子つり大会
- みどりの子・なぎさの子夏まつり
- 校歌・校章おひろめの会
- 子ども大会
- 「COSMOS 宇宙への夢」



2012

- 親子つり大会
- みどりの子
- なぎさの子☆夏まつり
- 子ども大会
- 「中学生から教わろう」
- 茶道部・美術部

2013

- 第1回なぎさの子☆村まつり
- 子ども大会
- 「中学生から教わろう」
- 茶華道部・美術部

2014

- 第2回なぎさの子☆村まつり
- 子ども大会
- 「中学生から教わろう」
- 茶華道部・美術部

2015

- 第3回なぎさの子☆村まつり
- 子ども大会
- 「中学生から教わろう」
- 茶華道部・美術部

2014

- 第3回なぎさの子☆
- ビーチクリーン
- & ミニ運動会
- サイエンスカフェ
- 夏の寺子屋
- 第9回なぎさの子☆村まつり

2015

- サイエンスカフェ
- 夏の寺子屋

予告

- 第10回なぎさの子☆
- 村まつり冬バージョン

2013

- 第2回なぎさの子☆
- ビーチクリーン&ミニ運動会
- サイエンスカフェはじまる
- 夏の寺子屋はじまる
- 第8回なぎさの子☆村まつり
- 冬バージョン

2012

- 第1回なぎさの子☆
- ビーチクリーン&ミニ運動会
- おうちでトライ
- なぎさチャンネル
- 子ども大会
- 「科学のお話と工作」

2021

- おうちでトライ
- なぎさチャンネル

2020

2026へ

つづく...



2019

- 第7回なぎさの子☆
- 村まつり
- 子ども大会
- 「中学生から教わろう」
- 美術部

2018

- 第6回なぎさの子☆村まつり
- 子ども大会
- 「中学生から教わろう」
- 美術部

2017

- 子ども大会
- 「地域の方から教わろう」

ティアラ

ばんばんコマ

ワワ-アルジ

お茶

2016

- 第4回なぎさの子☆村まつり
- 子ども大会
- 「中学生に教わろう」
- 茶華道部・美術部

マジックハンド

ワワ-アルジ

お茶

ティアラ

剣

ワワ-アルジ

お茶

変化する箱
シーグラスを使った花瓶
ばんばんコマ

くるくる
メリーゴーランド

ミサンガ

コースター

ミサンガ

クリスマスカード

キラキラ
ステンドグラス
浮沈し

汐見台推進協の思い出とこれから



対談：初代会長小林さんと現会長佐々木さん

佐々木：小林さんは汐見台小推進協の初代会長さんでしたよね。

小林：私は前年から、緑が浜小推進協のお手伝いをしていましたが、汐見台小開校と同時に汐見台小推進協をスタートさせねばならず、誰かが引き受けなければ、と決断(?)して会長を引き受けました。

発足時の推進協

佐々木：スタートに当たってどんなことを考えましたか

小林：汐見台小推進協は、今までの緑が浜小推進協と同レベルの内容にプラス汐見台らしさを加えたい、汐見台小の目の前の海とそこに生きる生き物に触れて欲しいと思って「親子釣り大会」を始めました。開催に当たっては、いつも砂浜で釣りをしている



地元のベテランの方にサポートをお願いしました。餌にする生きているゴカイを見て気味悪がって、逃げだそうとするお母さん方や、魚を釣り上げた時の子どもたちのうれしそうな顔が印象的でした。

佐々木：その後、富山に移住され、農業をしながら地元の自治会などにも参加されていらっしゃるようですが、茅ヶ崎と比べてどうですか

小林：当時、あちらのボランティア活動は長老が仕切っていて、新しいコトより伝統を絶やさないと苦心していました。まつりは神社中心で、祝詞(のりと)とお祓いが行事の中で、手伝いなどに参加する人々も決まっています。内容も参加者にも常に新しさを求めていた汐見台小推進協とは大きな違いがあります。

佐々木：子ども達がやりたいことを自分たちで企画して実行する。大人はその環境を作って、裏でサポートして見守っていく。楽しいことや役に立つことを経験するだけでなく、楽しいことをみんなで考えていく楽しさを味わえる活動ができればよいなあと思っています。

「推進協」(青少年育成推進協議会)って？

推進協は、地域で青少年育成活動を行うことを目的に小学校区単位で組織され、青少年に関わる団体や地域の方々と協力して活動しています。青少年に関する情報交換や育成活動を行い、子どもの健全な成長を見守っています。

編集子より

インフルエンザが流行っています
気をつけて楽しい新年をお迎えください

